

# INFORMATION

## 勿忘（わすれな）の鐘

東日本大震災追悼法要

令和8年3月11日（水）

14:46 撞鐘・黙とう

14:50 勤行・法話

あれから15年。どんな歩みがありましたか。あの日を振り返り一緒に手を合わせましょう。どなたもどうぞお参りください。

## 春の法要

令和8年4月12日（日）

13:00～14:00

勤行 法話 茶話会

共同墓地「無量寿苑」とペット墓地の合同法要を兼ねた春の法要です。



## 境内の花々



## クリスマスローズ

徳報 No.0099  
2026年01月発行

## 月に一度のいのちの洗濯

三月同朋会(第二十曜日)

三月十四日

十二時から十五時三十分

内容 勤行 住職法話・前住職法話

茶話会(500円)

持ち物 念珠・勤行本

東日本大震災の追悼勤行も行います。

## 前住職法話『歎異抄第四章』より

俱会一処(くえいっしょ)

ともに一処で会う。その「一処」とは浄土です。心が通じ合い、お互いが理解できるような世界を、誰もが求めています。

しかし、現実はどうでしょうか。これほど難しいことはないのではないのでしょうか。理想として掲げながらも、それができないこと、どこか寂しさを抱えて生活している。けれども実は、自分がしっかり立っているところを見つめると、見方が変わってきます。すべての人がひとつになれるということは、単なる理想ではないのです。まず、自分自身をしっかり見ていくこと。

「悪人である」ということに気づく人はほとんどいません。ここでいう悪人とは、罪を犯す人や悪いことをする人のことではありません。自我に満ちた私、自分中心の私。その姿を振り返る目を与えられることが大切なのです。それが浄土のはたらきです。

心が開かれ、誰でも共にいられる世界が開かれていく。この現実をつくっているのは誰なのでしょう。それは「あちら」ではなく、この私なのです。私たちは外にばかり目を向けます。しかし、自分を見つめるとき、世界の見え方が変わります。

素直に頭が下がるかどうか。そこに、俱会一処の世界が開かれていくのではないのでしょうか。

## ぼうもりのひとりごと

毎月同朋会が終わり、第三週に入ると(さて、今度の徳報は何を書こうかな。)と記事探しを始めます。この100号の歩みはまさに私の坊主としての歩みに他ならないなあと感謝するばかりです。ありがとうございます

二月同朋会より